

これまでに人工肛門・人工膀胱造設治療を受けた患者さんへ 【過去の診療情報の臨床研究への使用のお願い】

順天堂大学医学部附属静岡病院では「当院における高齢ストーマ造設患者の退院支援、在宅調整介入状況からみる今後の課題」という研究を行っております。この研究は、地域医療支援病院の皮膚・排泄ケア認定看護師としての地域活動に活かすため、近年の造設患者の動向からその現状を把握し、分析することで今後の課題を明らかにすることを主な目的としています。そのため、過去に人工肛門・人工膀胱造設の治療を受けた患者さんのカルテ等の診療情報を使用させていただきます。

1.この研究の対象となる患者さんは、一般外科または泌尿器科に受診された方で、西暦2024年4月1日から西暦2025年8月31日の間に手術治療により新規に人工肛門または、人工膀胱を造設された方です。

- 利用させていただく診療情報：

- 人口統計学情報：生年月、性別
- 居住地域、家族構成
- 介護認定、在宅サービス、訪問看護等社会資源の利用の有無
- 人工肛門あるいは人工膀胱造設における病名・術式
- 日常生活自立度
- 身体機能（視力、聴力、手指巧緻性等のストーマセルフケアに必要な機能）
- 認知機能、精神機能
- 収集期間：西暦2024年4月1日～西暦2025年8月31日
- 情報の管理責任者：順天堂大学医学部附属静岡病院（研究責任者：上田 歩）

2.この研究は順天堂大学医学部医学系研究等倫理委員会の承認および研究機関の長の許可を受け、以下の期間で行われます。また、情報の利用を開始する予定日および外部への提供を開始する予定日は以下のとおりです。

- 研究実施期間：研究実施許可日～西暦2026年1月31日
- 利用又は提供を開始する予定日：研究実施許可日

3.過去の診療情報を使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

4.患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離した上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表しますが、患者さん個人を特定できる個人情報は含みません。

5.この研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大学・研究者に帰属し、あなたには帰属しません。

6.この研究は、外部の企業等からの資金の提供を受けておりません。研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

7. 本研究は以下の体制で実施します。（この研究は当院のみで行う自主研究です）

順天堂大学医学部附属静岡病院（研究責任者：看護入院業務課 上田 歩）

＜既存試料・情報のみを収集し提供する機関＞

該当なし

＜研究協力機関＞

該当なし

＜委託機関＞

該当なし

この研究は「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究者等は、患者さんからインフォームド・コンセント（説明と同意）を受けることを必ずしも要しません。そのため同意を取得する代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望や、研究に関するご質問がございましたら、大変お手数ですが【お問い合わせ先】までご連絡ください。なお、情報の利用についてご了承いただけない場合でも、今後の治療などに影響することはございません。

【お問い合わせ先】

順天堂大学医学部附属静岡病院

連絡先：055-948-3111

担当者の所属・氏名：看護入院業務課 上田 歩